金属探知機

【いつ】作業前後など必要に応じて、自社で定めた適切な頻度で行います。

【誰が】担当者 （確認時に記録）

【どのように行うか】

・作業前にテストピースで金属探知機の作動を確認します。テストピースを定期的に適切に通すなどして、正しく作動していることを確認しましょう。

金属探知機で除外された製品は区別して保管します。

【問題があった時にはどうするか】

・除外された製品に異物が混入していないか確認しましょう。

・発見された場合は速やかに混入の原因究明を行い、改善しましょう。

・金属探知機の不具合を確認した場合は、正常な状態に戻し、安全が確認出来るまで作業を中断しましょう。

金属探知機が無い場合は、目視検査や作業開始前、作業終了後に生産ラインの点検を行い、部品の欠落、破損のないことを確認し記録に残しましょう。